

里だより

<発行>
令和6年1月19日
社会福祉法人 博愛
障がい者支援施設
仁万の里
島根県隠岐郡隠岐の島町
都万 2582 番地 1
08512-6-2289

新年のご挨拶

施設長 安井 敏

新年あけましておめでとうござい
ます。

昨年中は、仁万の里の事業にご理
解ご協力いただき誠にありがとうございました。
ございました。ここに深く感謝申し上
げます。本年も引き続きよろしくお
願いいたします。

さて、仁万の里が昭和55年6月に
開所してから早いもので40数年の
年月が経過いたしました。その間、
障がい者福祉の流れはノーモライゼ
ーションの考え方のもとに施設福祉
から地域福祉へと大きく舵を切って
まいりました。仁万の里においても
平成4年よりグループホームを開設
して、現在は都万地区に5ヶ所と西
郷地区に7ヶ所を数えるようになり
52名の方が暮らしています。しかし
ながら、施設を利用されている方と
同様に高齢化、重度化の状況が進ん
でおり、バリアフリーを施した建物
が必要となっております。仁万の里で
は令和6年度中に岬町地区に新グル
ープホームの建設を行い、令和7年
度から開設の予定としており、快適
で住みやすい環境が提供できればと
願っています。



迎春



一方で仁万の里の施設の中では
年齢や障がいの程度に応じた支援
の充実が課題となっております。日常
的な介護の支援のウエイトが増し
ていますが「豊かな生活の実現」を
目指していくためには、生きがいと
なる日中活動や休日の余暇支援が
重要だと考えています。それらが利
用者の希望で叶えられ喜びにつな
がるために職員は知恵を絞って工
夫していくことを今年テーマとし
て掲げたいと思っています。職員
が不足する中で簡単なことではあ
りませんが仁万の里の開設以来、障
がいのある方の幸せを願って実践
してきた取り組みをもう一度振り
返り実行していく所存です。

令和6年の幕開けは元旦に発生
した能登半島地震、日航機と海保機
による衝突と大災害や大事故で思
いもよらぬ波乱の出来事が続きま
したが笑顔あふれる1年となるよ
うに祈るばかりです。

生活介護 新年の集い

今年の新年の集いは、ユニットに分かれて館内放送による施設長、自治会長の挨拶で始まりました。その後ユニットごとに写真撮影をし、利用者さんが作った手作りの絵馬に一人ひとり頑張りたいことや、願い事を書きました。あいにくの天候でしたが、仁万の里正面玄関から見える職員が作った仁万神社にお参りして絵馬を貼り、手作りおみくじを引き今年1年の健康を願いました。

午後からは、職員が七福神の仮面を被り大きな祝い船に福袋を積んで隠岐民謡の歌に合わせながらユニットを廻りました。

利用者さんは、一人ひとりが大黒様より福袋を貰い大喜びでした。

今年一年の始まりに、素敵な笑顔が見られてとてもにぎやかな集いになりました。

野津 絵美

就労B 新年の集い

仕事初めの1月4日、新年の集いからスタートしました。

コロナウイルス感染症は落ち着いていますが、生活介護は各ユニットで、就労Bは機能訓練室に集まり、管内放送にて自治会長や施設長の挨拶を聞きました。その後は各班で記念写真を撮りました。就労Bにも2名ほどの年男、年女がいます。新年の集いの後、あおぞら班は水若酢神社に、加工班は毎年恒例の釜屋神社に参拝しました。今年も商売繁盛とみんなの健康を祈りました。

今年は年初めから、石川県の能登半島地震や日航機と海保機の事故といった悲しい出来事が続いています。この悲しい出来事に負けないように石川県の復興と、仁万の里が今年一年元気に笑顔で過ごせるように心から願っています。

村田 文代

とんど焼き

1月13日(土)にとんど焼きを行いました。天気予報では曇り時々雨となっており朝からポツポツと降っていたので、「屋根のある作業小屋で焼こうか」と利用者の方と話をしていたのですが、しばらくすると空が明るくなってきたので、思い切って作業棟前広場に変更しました。

集まった正月飾りを燃やして無病息災を願います。お焚き上げには生活介護の利用者の方も参加されており、「煙たいね」「目がしみる～」「かなりきついすね」などと言いながら、賑やかに楽しまれていました。鏡餅を分けて、アルミホイルに包んで焼いた餅を食べると1年元気に過ごせると言われており、希望者を募ると「はい」「は～い」と手を挙げ「熱い～」「焦げて苦い～」など聞かれましたが、健康に過ごせるという事で、最後まで食べている様子が印象的でした。そしてお待ちかねのぜんざいとみかんの登場です。口々に「美味しいね」「美味しかった」と言われ喜ばれていました。途中、雪が降る事もりましたが、最後まで正月飾りを燃やす事ができたので良かったです。皆様が健やかな1年になればと思います。

岸岡 浩美



就労B・生活介護の記念写真



みんなでつくる発表会



今回のみんなでつくる発表会は、今までの劇ではなく、歌と演奏&ファッションショーをミックスした『にまコレフェス』として行いました。

歌と演奏は、仁万の里ではおなじみの2組が元気に歌いました。1組目は利用者デュオ。サンタとトナカイに変奏して1曲元気に歌い上げました。もう1組は利用者と職員で「おきなす」ぎりぎり精一杯バンド」が2曲、振り付けも行いながら大いに盛り上がりました。

ファッションショーでは、昨年行う予定だった「勇者ニマの大冒険」の劇中で使用するはずだった衣装をお披露目しました。みなさん、堂々とランウェイを歩き、会場からも暖かい拍手をいただきました。

利用者の高齢化に伴い、参加出来る方が減る中、今までの劇からがらりと路線変更をしての取り組みでした。練習時間もなかなか取れない中での本番でしたが、利用者の方々が楽しそうに、また、恥ずかしそうにポーズをする姿が見られたことが印象的でした。

来年はどんな発表になるのでしょうか。それはまたのお楽しみですね。

生活支援課 山根 さき子

今月の行事食 おせち料理



例年であれば元日のお昼はおせちにお雑煮が定番なのですが、今年は、朝ごはんにお雑煮をもってきて、お昼はお膳で提供してみました。

今年は積雪もなく、いつものお正月とは少し様子が違いますが、食事だけでもお正月の気分を満喫してもらえたのではないのでしょうか？

栄養管理 入久戸 五月

KEIRIN 「競輪補助事業による福祉車両の整備」

この度、公益財団法人JKA様より2023年度の競輪公益資金による補助金の交付を受けて、福祉車両の整備をさせて頂きました。通所利用者の送迎や入所利用者のレクリエーション・買い物などに活用させていただきます。

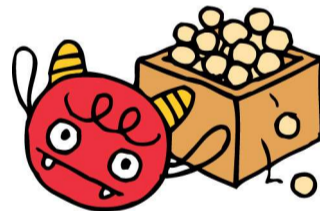
公益財団法人JKA様に謹んで感謝の意を表します。

- 【事業名】 2023年度福祉車両の整備補助事業
- 【事業内容】 日産キャラバンワゴン4WD 10人乗り
- 【補助金額】 2,025,000円
- 【完了年月日】 2023年11月22日



行事予定

- 2月13日(火) 防犯訓練
- 2月14日(水) 苦情解決第三者委員会
人権なんでも相談会



サービス向上委員会(苦情解決)報告

今回、苦情受付はありませんでした。

令和5年度 苦情解決委員

- ・第三者委員 野津 憲一 常平広志
- ・苦情解決責任者 安井 敏 (施設長)
- ・苦情解決担当者 赤沼 百合子 (生活支援課長)
濱口 広樹 (通所支援課長)
- ・苦情受付担当者 各事業係長

編集後記

隠岐の島町島民にとって、今年の最大の関心事と言えれば大相撲隠岐の海が現役引退した事ではないかと思えます。

九月末に両国国技館で断髪式を行い、県知事はじめ多くの島民ファンが駆け付け別れを惜しみました。十月中旬、我が隠岐の島町でも「感謝の集い」があり保育所園児・小中学生、一般町民も参加し散餅とともに大盛況でした。

これ程多くの方々に慕われたのは、隠岐の海の控えめで穏やかな性格もありですが、最大の魅力は何と云っても正攻法の取り口に徹した事だと思えます。目の前の一勝に拘るあまり、立ち合いの変化や蹴たぐり、捨て身のうっちゃり等には全く無縁であるの大横綱「白鵬」でさえ真つ向勝負で挑んだ点であり、これも島民気質の表れであると思っています。

相撲に限らず、郷土出身選手が全国で活躍するとそれだけで一喜一憂します。自分の事のように生活の一部として感じるのは、人間が本来持っている気質ではないでしょうか。

勝負事は色々ありますが、特にスポーツは白黒はつきりしていて素人にも判りやすいです。

隠岐の海の登場で相撲ファンを増やした事は紛れありませんが、島民を一つにした功績は絶大だと思えます。

引退によって隠岐の海の姿のない大相撲テレビ中継は誠に淋しい限りだと思えます。

今後は一日も早く君ヶ浜親方として弟子の発掘、育成等に力量を発揮される第二の隠岐の海の誕生を一ファンとして節に願っています。

